

「中期計画」(案)の総代会確認

【第3号議案】「中期計画」(案)承認の件

事前の意見集約では、全体としては賛成が多数でした(総論賛成)。

しかし中期計画の「骨子」の提案で、具体的な事項の例示が少なかったことから総論賛成になる傾向があったこと、にもかかわらず組合員・生産者から多様で多角的な視点から意見が出され、今後の常総生協のあり方の方向、実験、活動の範囲のわきまえ等について、議論のたたき台になりました。

組合員・生産者の意見を常に考慮し、今後具体的な事をひとつひとつ提案し、討議し、その是非を問いながら、「みんなで生協のあり方を合意形成してゆく」ということを前提に、「次期10年の活動の方向のテーマ」として、今総代会で承認します。



【経過の説明】

総代会では理事会より、中期計画(案)の春の一斉討議の経過が説明され、全体としては賛成が多数を占めたものの、組合員・生産者より886通に及ぶ多様な意見が寄せられたことが紹介されました。

「理念には賛成ですが、具体例がなくてわかりにくい」

「具体的なことはこれから議論するのか？」

という意見が多かったことから上記の提案になったことが説明されました。

「たくさんの目標でやりきれぬのか？食の安全に絞っては」

との意見を受けて、理事会より「かつては自分たちで安全な食づくりをすすめてきましたが、今や政治や経済に対して声をあげてゆかないと、安全な食や環境、そしていのち自体が守れない時代になった。その典型が原発事故による食や環境の放射能汚染だったし、いのちを殺し合う道につながる安保法制」との提案がされました。

【中期計画の要旨の説明】

常総生協も40年を経て3世代が同居する組織になり、育ってきた環境も時代も大きく変わってきた。今や次世代の子どもたちは朝から晩まで勉強で、家庭で台所やくらしの基本が伝えられていない。家計も高度成長期とはまったく違い、他方で教育費や通信費が多くなっている。昔に比べて情報は氾濫しているのに、何が本当の事なのかわからなくなってしまっている。

だからこそ、食文化やくらしの技術や考え方・節度を生協が大きな家庭として次世代に伝えてゆく組合員主体の活動がいつそう大切になってきている。

生協の食材も、かつては組合員と生産者が共に力を寄せて作り育ててきた商品だったものが、今やすでにあるものとして並べられ選択の対象になってしまっている。

生産者も世代交代がすすみ、消費者と共に苦労も喜びも分かち合う経験が薄らいできている。もういちど若い世代の組合員が若い生産者と共に食べものを共につくる経験をするのが大事。

(1) 食はいのち・・・自給・節理・食卓・文化を

(2) 生産と消費・・・共につくり、育て、わかちあう関係に

(3) 暮らし方・考え方・・・学びあい・交流から暮らしを取りもどす

(4) 自然・環境・平和・・・いのちの基礎を大切にします

食べものがいのちの基礎であること、食文化を伝えてゆくこと、生産者と消費者が共に安心の食をつくるために提携すること、その基盤の自然・環境・平和に対してもコミットメントすること、これが**中期計画の(1)～(4)**であることが提案されました。

具体的には、

- ・新センターを核にもういちど地場野菜の自社物流を組み、鮮度を上げること。
- ・生産基金を予算化して生産の支援体制をつくり食糧の地域自給を確保すること。
- ・岩瀬牧場周辺の遊休農地を借り上げて有畜複合の農場づくり。
- ・稲葉先生や先輩組合員を先生にした料理教室の開設。

を計画していることが提案されました。



(5) 協同のしごと・・・みんなで生み出してゆきます

(6) 地域へのひろがり・・・地域に協同の輪を広げます

(7) 運営・参画・・・できるときに、できることを

生協は食材のひとつの調達先ではない。職員にお任せするのではなく、組合員が主役で、自らが参加してつってゆくこと。つながりあうことが大事で、小さくても地域に仲間を増やし輪を広げてゆくことを持続してゆくことを**(5)～(7)**で提案している旨が説明されました。

具体的には、

- ・「配達料」を2015年度で解消させて組合員拡大に転じる準備をはじめ。
- ・仲間づくりの組合員地域スタッフの募集と9月行動開始。
- ・組合員意見を聞く公開商品企画検討会の6月スタート。
- ・新センター調理室を活用して年配者向けの「お弁当」づくりの調査に入る。
- ・職員の労働条件の改善（配送職員への昼食賄い、業務の見直し労働時間短縮）

等が提案されました。



以上の理事会提案を受けて討議され、冒頭の内容で承認されました。

今後具体的な事につき提案・合意形成をしながらすすめられます。

【夏休みの催し案内】 やさとの森聞きツアー & 映画上映会

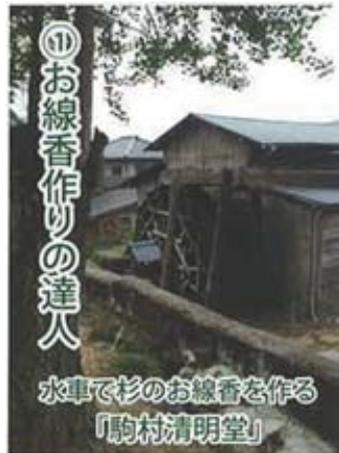
夏休み！8/8（土）親子で 地元筑波山へ やさとの「森聞きツアー」 & 「映画上映会」 に参加しませんか！

【主催】 語っペシアター 【後援】 茨城県教育委員会・石岡市 / 笠間市教育委員会、つくばね森林組合ほか 【協力】 常総生協、茨城有機農業研究会も協力しています！

8/8（土）9:30～11:30
9:30 フラワーパーク駐車場集合
やさとに暮らす「森の達人」
に会いに行くツアー20名

<上映会参加者限定 / 中高生優先枠10名>

- ①お線香づくりの達人に会いに！
生協でも供給している水車杉線香「駒村清明堂」
- ②しめ縄づくりの達人おばあちゃんに！



【定員】 先着20名ずつ（中高生優先枠各10名） 【参加費】 200円 要予約！7/24までに生協へ！

8/8（土）13:00～16:40 ふれあいの里石岡 ひまわりの館（石岡鈴木牧場前） 映画『森聞き』上映会 & 小さな交流会



4人の高校生が「森の名人」と呼ばれる人たちの人生と技を聞き書きするために山村に暮らす老人たちを訪ねた。老人たちの言葉は意外なほどまっすぐに高校生たちの心に届く。世代を再びつなぐ信頼回復のドキュメンタリー。

高校生以下は無料！（要予約）

予約は7/24までに生協「協同推進室」（榎本）までご連絡下さい。

大人 前売1,000円 当日券1,500円

※親子スペースあり、子どもと一緒にご覧頂けます

生協に前売券あります。

7月中に供給担当まで声をかけて頂くか生協までお電話下さい。8月1週に前売券をお届けします。

